



オンコリスバイオフーマ株式会社

Oncolys BioPharma Inc.

"Powering Future Oncotherapy" 未来のがん治療にパワーを!

会社概要

当社は、「ウイルス学に立脚した創薬技術を駆使して、がんや重症感染症の治療法にイノベーションを起こし、世界の医療に貢献したい」という思いで、2004年に設立されたバイオベンチャーです。「**がんを切らずに治す**」をコンセプトに開発を進めている、がんのウイルス療法テロメライシン(OBP-301: suratadenoturev)は、2019年4月に中外製薬と独占的ライセンス契約及び資本提携契約を締結しました。現在、中外製薬によって2023年以降の承認申請に向けた臨床試験が進められています。

また、「重症感染症」の分野では、鹿児島大学から導入した新型コロナウイルス感染症治療薬の開発を新たに開始し、2022年の治験申請を目指しています。

研究開発・中核技術

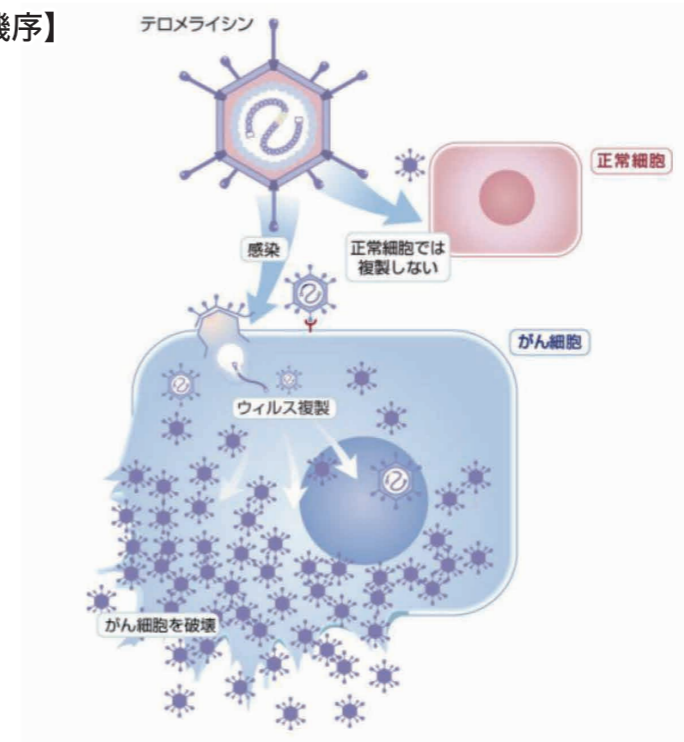
当社は、ウイルス遺伝子改変技術を活用した新規がん治療薬、新規がん検査薬の開発を行い、さらに感染症領域の新たな治療薬の開発を行い、がんや重症感染症領域の医療ニーズ充足に貢献することを目指しています。

がん領域では、2019年に中外製薬とライセンス契約を締結したがんのウイルス療法テロメライシンに加えて、次世代テロメライシンOBP-702の開発を進めています。また、重症感染症領域では、新型コロナウイルス感染症治療薬の開発を進めています。

当社はこれらの研究開発を適確に進めるために、国内の研究体制に加えて米国に100%子会社としてOncolys USA社やOPA Therapeutics社を設立し、「腫瘍溶解ウイルスの研究開発」から「米国での臨床開発推進」というTranslational Research体制を構築しています。

当社は、今後がんや重症感染症領域の新薬候補品の開発を加速させ、将来への事業継続・拡大のために新薬シーズの探索・導入を積極的に行っていきます。

【テロメライシンの作用機序】



【事業領域】



【主要な開発パイプライン】

開発品	対象	前臨床	Phase 1	Phase 2	Phase 3	申請	承認
テロメライシン	食道がん	完了	完了	先駆け指定 中外製薬	2023年以降 ^{*1} 承認申請予定		
	頭頸部がん	完了	完了				
	肝細胞がん	完了	完了				
OBP-702	固形がん	完了					
OBP-2001/ 後継品	COVID-19	完了					
OBP-601 (Censavudine)	神経疾患	完了	Transposon社 ^{*2}				

出所 ※1: 中外製薬 2021年2月4日公表資料「2020年12月期決算説明会」を基に当社作成、 ※2: Transposon社が臨床試験を準備中

設立: 2004年3月18日

代表者: 浦田 泰生

住所: 本社 東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス 10F
神戸リサーチラボ / Oncolys USA Inc. / OPA Therapeutics Inc.

